

平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

文化芸術課

1 施設の概要等

施設名	広島県民文化センターふくやま		
所在地	福山市東桜町 1-21		
設置目的	県民の文化の振興に資する。		
施設・設備	ホール (530 席), 練習室 (2 室), 文化交流室 (1 室), 楽屋 (4 室)		
指定管理者	5 期目	H28. 4. 1~H33. 3. 31	広島県民文化センターふくやま共同企業体
	4 期目	H25. 4. 1~H28. 3. 31	(株)不二ビルサービス
	3 期目	H23. 4. 1~H25. 3. 31	県民文化センターふくやま共同事業体
	2 期目	H20. 4. 1~H23. 3. 31	(財) 県民センター
	1 期目	H17. 4. 1~H20. 3. 31	(財) 県民センター

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	ホール利用率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
		5 期	28	63.0%	47.2%	△7.7%	△15.8%
4 期		27	63.2%	54.9%	3.8%	△8.3%	(86.9%)
		26	58.0%	51.1%	△2.8%	△6.9%	(88.1%)
		25	53.0%	53.9%	0	0.9%	(101.7%)
3 期平均		23~24	58.2%	51.7%	0.5%	△6.5%	(88.8%)
2 期平均		20~22	58.6%	51.2%	△5.5%	△7.4%	(87.4%)
1 期平均		17~19	60.0%	56.7%	△0.7%	△3.3%	(94.5%)
	(導入前)	16	—	57.4%	—	—	—
増減理由	利用日数が減少したことにより、ホール利用率は前年度を下回り、目標値に至らなかった。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	ホール利用者アンケート	150 名
	主催者アンケート	50 名
	【主な意見】	【その対応状況】
	以前は行われていた駐車場の割引サービスがなくなり、駐車場代の負担が大きい。	駐車場の割引サービスを検討中。

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報 (必要随時)	—	緊急を要する事例なし
管理運営会議 (4 回・現地)	【特記事項等】 施設の老朽化に伴う対応 【指定管理者の意見】 老朽化に伴い計画的な修繕が必要 【県の対応】 現状を把握し優先順位を設けたうえで計画的に修繕を行う。		
現地調査 (9 月, 3 月に実施)			

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	5期	28	56,000		△1,801	料金 収入 (決算額)	5期	28
4期		27	57,801	0	4期	27		29,997	△185
		26	57,801	1,606		26		30,182	537
		25	56,195	△221		25		29,645	1,718
3期平均		23~24	56,406	△815	3期平均	23~24		27,927	△994
2期平均		20~22	57,221	△4,774	2期平均	20~22		28,921	△266
1期平均		17~19	61,995	△14,777	1期平均	17~19		29,187	△2,046
(導入前)		16	76,772	—	(導入前)	16		31,233	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		H28 決算額	H27 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	56,000	57,801	△1,801	指定管理者変更に伴う減
		料金収入	28,961	29,997	△1,036	利用料金制(※1)
		その他収入	3,896	1,143	2,753	雑収入の増
		計(A)	88,857	88,941	△84	
	支出	人件費	17,180	15,379	1,801	指定管理者変更に伴う増
		光熱水費	10,968	12,420	△1,452	節電等による経費減
		設備等保守点検費	1,821	2,597	△776	業務見直しによる経費減
		清掃・警備費等	39,976	40,881	△905	ホール利用率減による経費減
		施設維持修繕費	7,053	6,598	455	経年劣化回復修繕の増
		事務局費	5,761	1,866	3,895	指定管理者変更に伴う本部経費増
		その他	3,176	4,372	△1,196	指定管理者変更に伴う経費減
	計(B)	85,935	84,113	1,822		
		収支①(A-B)	2,922	4,828	△1,906	
	自主事業 (※2)	収入(C)	3,492	1,387	2,105	自主事業開催数増による収入増
支出(D)		5,704	5,621	83		
収支②(C-D)		△2,212	△4,234	2,022		
合計収支(①+②)		710	594	116		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	自主事業に積極的に取り組み, 著名な演奏家を招いてのコンサートや地元バンドの発表の場を設けた。また, 地域の歴史や神楽等, 地域文化・芸術の振興を図るための催しを開催した。	文化の振興に向けて, 積極的に催し物を開催したが, ホール利用率が前年度を下回るなど, 施設の利用促進の観点ではさらなる取組が必要である。
	○業務の実施による, 県民サービスの向上	アンケートボックスの設置や主催者アンケートを行い, お客様からの苦情や意見の把握に努め, 親子室・授乳室の整備等を行った。	サービス向上に向け取組んだ。今後はアンケートの回収率向上など, より多くの意見の把握が必要である。
	○業務の実施による, 施設の利用促進	今まで当センターを利用したことのない団体や企業に対し, 貸ホール・貸室料金割引制度を設け, 利用者の新規開拓に努めた。	利用促進に向け取り組んだが, 割引制度の周知やさらなる利用促進に向けた制度作りなどに課題がある。
	○施設の維持管理	施設の老朽化に伴い, 計画的な修繕が必要となっており, 県やエストパーク管理事務所等関係者と連携を密にしながら修繕を実施した。	施設の状況について随時共有され, また, 楽屋の畳張替や親子室のテレビ入替など, 利用者目線に立った修繕を実施した。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	指定管理者の構成員である4つの企業が連携し, 業務を遂行した。	関係機関同士で連携しながら, 適正な管理・運営を行った。
	○効率的な業務運営	事務の内容を精査し, 各事務について主務者, 副主務者を決めて事務の効率化を図った。	主務者不在時に副主務者が事務を行うなど, 効率的な業務運営を行った。
	○収支の適正	節電など細かな経費の削減までを意識しながら, 収支の適正化に努めた。	収支の適正化に向け積極的に取り組んだ。
総括		平成28年4月から, 新たに指定管理者として施設の適切な管理に努めたが, 目標値の達成については, 自主事業を当初予定より増やすことも行ったが, 利用促進に向けた企画や取組等が見込みを下回り, 達成に至らなかった。	新たな指定管理者として一層の利用者サービス向上に取り組んだが, 施設の利用に関しては, 利用が減少し, 利用を増加する取組も有効性に欠けるなど, 次年度以降の運営に向けて多くの課題を残す結果となった。

8 今後の方向性 (課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (平成29年度)	利用促進に向け, 新規顧客の開拓及び自主事業の拡充に取り組む。	指定管理者の利用促進に向けた取組の経過と効果を把握し, 見込みを下回る場合は, 改善を指導するなど, 連携して利用促進に取り組んでいく。
中期的な対応	施設の維持管理を徹底し, 施設の快適性の保持及び長寿命化を図る。	施設の維持管理に向け, 指定管理者と連携し計画的な修繕等を行う。